

まちと人の想いが交わる情報交差点

# 佐 甲 報 広

1 January 2026  
No.678



(女子5キロの部)  
日本新記録更新!!

特集

“節目の50回記念大会”  
熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会

# 広報こうさ R8.1

## CONTENTS

- 02 目次／人のうごき
- 03 新年のごあいさつ
- 04 第50回熊本甲佐10マイル公認ロードレース記念大会
- 08 こうさの話題
- 10 健康だより／甲佐町フィットネスセンター
- 11 スマイル／休日当番医／子育てカレンダー
- 12 図書室へ行こう
- 13 文化財探訪／人権
- 14 甲佐のまちづくり／甲佐高校通信
- 15 甲佐町イベントカレンダー
- 16 町からのお知らせ
- 18 暮らしの情報
- 22 うたごよみ
- 23 甲佐の野菜で作ってみよう！
- 24 Kosa Style 本田 和登さん（中横田区）

## —— 表紙の写真 ——



今月の表紙は、10マイル女子5<sup>キロ</sup>折り返し地点付近の1枚。晴天にも恵まれ、多くの観客でにぎわった50回記念大会で日本新記録が誕生しました。新記録が樹立される瞬間を目の前で観覧できる本大会。これから先も多くの皆さんに愛され、応援していただける大会にしていきたいですね。

## 町からの情報をお届けしています



メールアプリ



ウェブサイト



instagram



facebook



X(旧 twitter)



メールアプリ「こうさ情報たしかめーる」の登録をお忘れなく！

## 人のうごき（11月30日現在）

総人口

9,746人 男 4,682人／女 5,064人

前月比

- 15人 男 - 8／女 - 7

○出生

1人

○死亡

12人

○転入

9人

○転出

13人

総世帯数

4,380世帯 前月比 - 9



# 新年のごあいさつ



甲佐町長  
かいおし  
か 斐 高 士

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、新年を健やかに迎えのことに、心からお慶びを申し上げますとともに、平素からの町政全般にわたる温かいご支援とご協力に厚くお礼を申し上げます。

昨年の8月の豪雨では、町内各所で甚大な浸水や土砂災害が発生し、多くの町民の皆様が不安と困難に直面されました。改めまして、被害に遭われた皆様に深くお見舞い申し上げますとともに、復旧・復興にご尽力くださった皆様に心より感謝申し上げます。今後も、改めて防災・減災対策を見直し、災害に強いまちづくりを着実に進め、町民の皆様への安心・安全な生活を守るための対策強化を、より一層努めてまいります。

あわせて、子育て支援や高齢者支援・産業振興など、町の未来を支える施策にも積極的に取り組み、誰もが「住みたい・住んでよかった」と感じていただける町を目指していきたいと考えております。本年も、町民の皆様の声に耳を傾け、「誠実・チャレンジ・甲佐愛」を信念に、活力と魅力にあふれる甲佐町を築いていくため、希望に満ちたまちづくりに全力で取り組んでまいります。

結びに、町民の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしますと共に、町政への変わらぬご指導とご支援を心からお願い申し上げます、年頭のご挨拶いたします。



甲佐町議会議長  
みやもと しゅうじ  
宮本 修治

令和8年の年頭にあたり、甲佐町議会を代表し、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から町議会に対しまして温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、梅雨時期においてはまとまった雨は降らず、梅雨明け後、8月11日未明に発生した線状降水帯による豪雨災害により、本町においては土砂災害や河川の氾濫による甚大な被害が発生しました。全国各地においても、豪雨・竜巻・山火事など地球温暖化が原因と思われる予測不能な災害が頻発しています。

今後においては、このような災害に対する迅速な対応はもとより、少子高齢化対策や経済対策などの様々な課題に対し、的確な対応を図っていくことが肝要であると考えます。

議会といたしましても、町民の皆様が安心して幸せな日々をお過ごしいただけますよう努めてまいりますので、どうぞ本年も、ご指導とご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

最後に、新年が町民の皆様にとりまして実り多き年であることを祈念申し上げます、年頭のご挨拶いたします。



甲佐町教育長  
くらた ゆうじ  
蔵田 勇治

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。また、日頃から学校教育、社会教育、生涯体育・スポーツ活動、芸術・文化の振興等の本町教育行政に暖かい御理解と御支援、御協力を頂いておりますことに改めて感謝申し上げます。

昨年8月の豪雨災害では本町内で甚大な被害が発生いたしました。お亡くなりになった方のご冥福を祈りますとともに、被災地の一刻も早い復旧並びに創造的復興を心より願うものです。

さて、学校では子どもたちが「主体的、対話的で深い学び」により学習を進めています。一方、近年AI（人工知能）の飛躍的普及が進み、私たちの生活の中に浸透しつつあります。AIは新しい知見や情報データを取り込み、それらを組み合わせ深層学習（ディープラーニング）により進化し続けていきます。AIの進化と生活への浸透は人の学びを凌駕し、人によって未来社会にその存在を広げ、一部の仕事など人の営みを人から奪っていくかもしれません。しかし、人しかできない事もあります。AIには未来に夢を持ち、その夢を互いに語り合うことはできません。甲佐町の子供たちは未来に大きな夢を抱き、夢を語り合いながら夢の実現のために大いに学び、元気に育って甲佐の未来を担ってほしいと願っています。

本年が平安で皆様にとって幸多き年になりますよう心から願うと共に、夢と希望に満ちた甲佐町の未来に思いを馳せながら新春のご挨拶とさせていただきます。





# 節目の50回記念大会

第50回  
熊本甲佐10マイル  
公認ロードレース記念大会

女子5キロの部で日本新記録が誕生!!

12月7日(日)、熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会が町役場前を発着点とする日本陸連公認コースで開催され、6部門で熱戦が繰り広げられました。女子5キロの部では、西出優月選手(ダイハツ)が15分21秒の日本新記録をマークし、初優勝を果たしました。2位の西山未奈美選手(三井住友海上)も同タイムで続きました。

10マイルの一般競技者の部では、西研人選手(大阪ガス)が45分55秒で初優勝。9月の世界選手権マラソンで23位の小山直城選手(ホンダ)は、46分6秒で2位となりました。国際競技者の部は、イエゴン・ヴィンセント選手(ホンダ)が45分52秒で制しました。

10キロの部では、一般競技者の部のマンガッタ・キベト選手(マツダ)が28分28秒で優勝。高校男子の部は園木縁選手(熊本工業高校)、中学男子5キロの部は野中大雅選手(福岡・明星中)が15分9秒の大会新記録でそれぞれ頂点に立ちました。

敢闘賞は2人に贈られ、10マイルの部で一般競技者最上位の3位となった木村慎選手(ホンダ)と、県内登録選手で女子4位の堤好伽選手(肥後銀行)が選ばれました。新人賞は、10マイル一般6位の吉田礼志選手(ホンダ)。地元競技者賞には、本町出身の薮田航希選手(九州学院高校)と松永真旺選手(千原台高校)が輝きました。

また、女子5キロ中学生の部の1〜6位入賞者には、女子敢闘賞が贈られました。

さらに、第50回大会を記念し、町役場の敷地内に記念碑が建立され、レースのスタート前には除幕式が行われました。大会の歩みと地域に根付いた歴史を後世に伝える象徴として、多くの関係者が節目の大会を祝いました。







# 大会50年の歩み

昭和27年

12月14日

熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会の前身である、第1回熊本甲佐マラソン大会が熊本日日新聞社主催（後援 熊延鉄道・甲佐町）で行われた。コースは、熊本日日新聞社前から甲佐小学校（甲佐町豊内）校庭までの25<sup>キ</sup>でスタートした。

昭和51年

従来の甲佐マラソンを、第1回10マイル甲佐マラソン大会（熊本日日新聞社、熊本バス、甲佐町、甲佐町体育協会共催）と変え、甲佐町中央公民館（甲佐町豊内）前をスタート、ゴールとし、甲佐町白旗折り返しのコースで再スタートした。

昭和55年

第5回大会を記念し、旭化成の宗茂・猛兄弟を迎えて陸上教室を開催した。

昭和58年

12月11日  
**日本陸上競技連盟の公認コースとしてスタート**

第8回大会から、同コースは日本陸上競技連盟の公認コースとなり、名称を「熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会」と変更し開催した。同回大会から、新たに女子5<sup>キ</sup>の部を設け、一般10マイル・高校10<sup>キ</sup>・中学男子5<sup>キ</sup>の4部門でスタートを切った。

平成元年

第14回大会。後のバルセロナオリンピックのマラソンで銀メダルを獲得した森下広一（旭化成）が招待選手として出場し、46分34秒の大会新記録で優勝。

平成2年

第15回記念大会。モスクワオリンピック、ロサンゼルスオリンピックに選出された宗猛（旭化成）や浦田春生（本田技研狭山）を含め総勢16名の選手を招待。初めての外国人選手であるトーマス・オサノ（沖電気宮崎）が出演し、6大会連続の大会新記録となる、46分24秒の好タイムで優勝。出場者も、各部門総数850名を超えた。

## 第50回大会結果

### 10km 高校男子の部



### 10 マイルの部（国際競技者の部）



- ① イェゴン ヴィンセント  
(Honda) 45分52秒
- ② エバンス ケイタニー  
(トヨタ紡織) 45分53秒
- ③ ベナード ランガット  
(Honda) 46分07秒

### 10 マイルの部（一般競技者の部）



- ① 西 研人  
(大阪ガス) 45分55秒
- ② 小山 直城  
(Honda) 46分06秒
- ③ 木村 慎  
(Honda) 46分07秒

- ① 園木 縁  
(熊本工高) 29分52秒
- ② 洞口 稟太郎  
(九州学院高) 29分57秒
- ③ 澤山 康介  
(自由ヶ丘高) 30分06秒



平成7年

第20回記念大会。第1回大会から19回大会までの歴代優勝者を特別招待し、功労者表彰を行った。

平成8年

第21回大会。川嶋伸次(旭化成)がJ・シーブラー(NEC)とゴール直前までデッドヒートを展開し、日本最高記録にあと12秒と迫る45分52秒の好記録で優勝を飾った。

平成17年

第30回記念大会から、10マイルの部において一般競技者の部と外国人選手と日本人選手を含めた国際競技者の部に分けて開催した。

平成18年

第31回大会から、移転した役場新庁舎からのスタート、フィニッシュとなった。

平成28年

第41回大会、10マイルの部では、箱根駅伝で活躍した「山の神」今井正人(トヨタ自動車九州)、柏原竜二(富士通)、神野大地(コニカミノルタ)の3名がエントリーし、ロードレース初のそろい踏み、スタート前から異常な盛り上がりを見せた。レースでは、神野大地が粘りの走りを見せ、2位の今井正人に8秒の差をつけて優勝し、新人賞も獲得した。

令和2年

新型コロナウイルス感染症の全国的な流行により、令和2年と3年は、2年連続中止となる。

令和6年

第49回大会から、WA(ワールドアスレティックス)の公認を取得し、WRK(ワールドランキングコンペティション)の対象レースとなった。

令和7年

第50回記念大会。「第50回記念碑」を町役場敷地内に建立。  
女子5kmの部で、日本実業団陸上競技連合からの派遣選手・西出優月(ダイハツ)が15分21秒の日本新記録で優勝した。

### 5km 女子の部



- ① 西出 優月 (ダイハツ) 15分21秒 日本新
- ② 西山 未奈美 (三井住友海上) 15分21秒 日本新
- ③ ドルーリー 朱瑛里 (津山高) 15分56秒

### 5km 中学男子の部



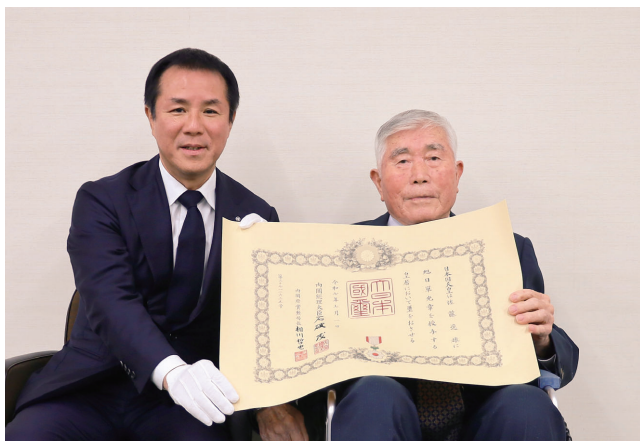
- ① 野中 大雅 (明星中) 15分09秒 大会新
- ② 山田 暁雅 (西合志中) 15分13秒
- ③ 野田 佳佑 (ALL八代) 15分25秒

### 10km 一般の部



- ① マンガッタ キベト (マツダ) 28分28秒
- ② キプタムヴィクター (安川電機) 28分29秒
- ③ フェスタス キモルウォ (黒崎播磨) 28分38秒





▲甲斐町長から勲記を受け取った佐藤逸雄さん（写真右）

## 佐藤逸雄さんに旭日単光章 高齢者叙勲（令和7年7月1日付）

12月2日（火）、地方自治の発展に貢献したとして旭日単光章を受章した佐藤逸雄さん（上早川三区）に、甲斐高士町長から勲章と勲記が手渡されました。高齢者叙勲は、優れた行いのあった方などに対し、88歳に達した機会にその功績などを内閣総理大臣が表彰するもの。佐藤さんは、町議会議員として3期12年にわたり本町の発展に貢献した功績により表彰されました。

## 町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

企業版ふるさと納税制度を活用し、本町へ寄附いただいた株式会社三浜測量設計社（熊本市・志水共一代表取締役）と株式会社本田設計コンサルタント（熊本市・本田吉伸代表取締役）に町から感謝状が贈られました。

企業版ふるさと納税制度は、人口減少や地域経済の衰退に悩む地方創生を後押しする目的で作られた制度。本町もこれまでに数多くの企業から寄附をいただき、地方創生の取り組みに活用させていただいています。

今回、寄附をいただいた株式会社三浜測量設計社は、公共施設の設計・点検・公共事業における測量等を主に行う企業。12月8日（月）に町役場で、甲斐高士町長から同社の志水副社長に感謝状が手渡されました（写真上）。

株式会社本田設計コンサルタントは、熊本県内で設備設計・建築設計・補償コンサルタント業を主に行う企業。同日、甲斐町長から本田常務取締役へ感謝状が手渡されました（写真下）。



▲がんばる高校生表彰を受賞した甲斐浩一郎さん（甲佐高校3年）

## 輝く明るい未来にエール 「がんばる高校生」 甲斐さんが受賞

11月28日（金）、県庁で「令和7年度熊本県がんばる高校生表彰式」が行われ、甲斐浩一郎さん（甲佐高校3年・岩下二区）が受賞しました。これは学業やスポーツ、文化活動等において他の生徒の模範となる高校生の功績を讃え表彰し、将来の夢の発見、挑戦、実現を応援することを目的に県が実施。甲斐さんは、同校生徒会長や野球部主将などを務めた功績により表彰されました。



▲甲斐町長から感謝状を受け取った志水副社長（写真左）



▲甲斐町長から感謝状を受け取った本田常務取締役（写真左）





▲馬にまたがり手綱を引いて操り方などを学ぶ参加者

## 馬術の魅力や楽しみ方を体験 ジュニア馬術教室を開催

11月22日（土）、菊地農業高校で「ジュニア馬術教室」が開催されました。同教室は、町民への体力づくりの機会を提供するため、町教育委員会が年間を通じて開催しているスポーツ教室の1つ。参加者は、同校教諭の佐藤力さんの指導のもと、手綱を引き乗馬を体験しました。参加した緒方凧紗さん（甲佐中1年）は、「馬に乗ったら結構揺れたけど、楽しかったです」と笑顔で話しました。

## 町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

企業版ふるさと納税制度を活用し、本町へ寄附いただいた興栄測量設計株式会社（熊本市・山下祐二代表取締役）と株式会社アイエムプラン（熊本市・緒方潤代表取締役）に町から感謝状が贈られました。

企業版ふるさと納税制度は、人口減少や地域経済の衰退に悩む地方創生を後押しする目的で作られた制度。本町もこれまでに数多くの企業から寄附をいただき、地方創生の取り組みに活用させていただいています。

今回、寄附をいただいた興栄測量設計株式会社は、道路・河川などの測量・調査・設計などの業務を主に営む企業。12月10日（水）に町役場で、甲斐高士町長から山下祐二代表取締役に感謝状が手渡されました（写真上）。

株式会社アイエムプランは、熊本県内で道路・河川などの測量・設計・施工管理などの業務を主に営む企業。同日、甲斐町長から緒方潤代表取締役に感謝状が手渡されました（写真下）。



▲甲佐中吹奏楽部による演奏に拍手を送る来場者たち

## 「おいしい」がろくじ館に集まる 12月6日（土）「ろくじ館まつり」が開催

12月6日（土）、「ろくじ館まつり」が開催されました。毎月6日を「ろくじ館の日」とし、野菜の詰め放題やくじ引きなどイベントを行っている同館。この日は、町内外のグルメが並ぶ出店が出展し、多くの来場者でにぎわいました。甲佐中吹奏楽部とくまモンのコラボステージやもち投げ、ろくじ館セットやお米などの豪華商品が当たる大抽選会も行われ、盛り上がりを見せました。



▲甲斐町長から感謝状を受け取った山下祐二代表取締役（写真左）



▲甲斐町長から感謝状を受け取った緒方潤代表取締役（写真左）



## 健康だより

## 寒さに負けないからだでフレイル・転倒を予防しよう

寒い季節は、身体を動かすことがおっくうになり、じっとしている時間が多くなりがちです。身体を動かさない時間が増えると、体力や筋力の低下をまねき転倒骨折を起こしやすくなってしまいます。

## ●寒い季節だからこそ「動く力」を付けましょう

「身体を動かす」ことは、体力や筋力の維持に大きな効果を発揮します。特に運動は習慣にすることで、その効果がさらに増していきますが、無理なく楽しく続けることが何よりも大切です。

## ●寒い季節の運動の効果とは

体温を保つ重要なものの1つに、基礎代謝があります。基礎代謝は、安静にしている状態でのエネルギー代謝量であり、骨格筋量が多い人では基礎代謝が多いことがいえます。冬に骨格筋量を増やすための筋力トレーニングを行い、エネルギー消費量の高い身体活動や運動を行うことは、基礎代謝を高めてエネルギーを消費しやすい身体をつくることに効果的です。

また、冬は寒さにより末梢の血管が収縮して血流が低下しやすくなります。血流が低下すると筋肉で消費されるエネルギーも少なくなるので、運動を行い、血行を促すことはエネルギーを消費しやすい身体をつくり、体温を保つことにもつながります。

## ●寒い季節の運動の注意点

寒い季節は、寒冷の影響で体温の発散を防ぐために血管が収縮して血圧が上がりやすくなり、心臓への負担が大きくなります。暖かい室内から寒い屋外へと移動した際の血圧の急激な変動によって、脳梗塞や心筋梗塞等の原因となることがあります。

また、筋肉は収縮して硬くなりやすく、柔軟性が低下し、筋肉や靱帯、腱などの損傷も起こしやすくなります。

寒い季節には気温の変動が少ない屋内での運動を行うことや、外へ出る時は朝・夜の冷え込む時間は避け、できるだけ日中の日が射す暖かい時間を選択して、身体への寒冷刺激の影響を少なくしましょう。

運動前のストレッチなどの準備運動をしっかり行い、身体を温めて筋肉の柔軟性を確保することも大切です。

町総合保健福祉センターには、運動できる施設があります。ぜひ活用いただき、寒い季節でも身体を動かす習慣をつけ寒さに負けず元気に過ごしましょう。

## ●お問い合わせ先

町健康推進課  
(町総合保健福祉センター内)  
☎096-235-8711

## Fitness

## 甲佐町フィットネスセンター

## 今年の健康づくり、まずはフィットネスセンターの無料利用体験から始めてみませんか？

令和8年1月6日(火)～11日(日)の期間中、お1人様1回に限り町フィットネスセンターを無料でご利用いただけます。新年のスタートに、ぜひお気軽にご利用ください。

## 今月の講師



那須 賢志さん  
(健康運動指導士)

また、当センターでは常時、健康運動指導士または実践指導者が勤務しております。気になる箇所

の運動指導はもちろん、リハビリ目的でのご利用も可能です。

さらに、ヨガやストレッチなどの教室プログラムは午前・午後・夜間に実施しており、無料開放期間中もご参加いただけます。

皆さまのご利用を心よりお待ちしております。

## ●無料開放期間

令和8年1月6日(火)～1月11日(日)

※教室プログラムの内容と実施時間帯につきましては、お問い合わせください。



▲甲佐町フィットネスセンターで健康づくりに取り組んでみませんか

## ●お問い合わせ先

甲佐町フィットネスセンター  
(町総合保健福祉センター内)  
☎096-235-8712



## スマイル

わが家の「笑顔」を紹介します

赤ちゃんの笑顔  
募集中！

未就学児のお子さんの  
笑顔を広報紙に掲載しま  
せんか？応募期限は  
毎月7日まで。  
ご応募お待ち  
しています▶



■お問い合わせ先

町企画課

☎096-234-1115



池上 魁人 ちゃん（3歳）

父・忍さん

母・梓花さん（西寒野区）

これからもすくすく育てね♪  
大好きだよ♡



飯田 雫楼 ちゃん（5か月）

父・尊さん

母・真綺さん（仁田子区）

元気にすくすくと育てね！

## 1月・2月の保健活動

●会場 町総合保健福祉センター

## ＋4か月児健診

1月15日（木） 午前10時

2月19日（木） 午前10時

## ＋7か月児健診

1月15日（木） 午前9時30分

2月19日（木） 午前9時30分

## ＋11か月児健診

1月15日（木） 午前9時

2月19日（木） 午前9時

## ＋1歳6か月児健診

1月13日（火） 午後1時

## ＋すくすく2歳児子育て相談

2月20日（金） 午前9時20分

## ＋3歳児健診

1月13日（火） 午後1時10分

※健診などの日時は変更となる場合  
があります。対象の方に個別にお送  
りする通知を必ずご確認ください。

## ● 1月の子育て支援カレンダー

●甲佐町子育て支援センター（竜野保育園内） ☎096-234-0305

5日（月） 身体測定（身長・体重）

7日（水） 七草を探しに行こう

9日（金） 干支を作ろう

14日（水） 絵合わせカードを作ろう

16日（金） 砂場遊び

19日（月） お人形遊び

21日（水） おやつ作り（要予約）

23日（金） 園庭遊び

26日（月） 園庭探検

28日（水） トンネル遊び

30日（金） 鬼のお面作り

育児相談（電話・面接） 月～金曜日 午前9時30分～午後4時

体験保育 月・水・金曜日 午前9時30分～正午

## ●休日当番医

月 日	当番医	電話番号
1月1日	甲佐眼科クリニック	096-235-5600
1月2日	荒瀬病院	096-234-1161
1月3日	谷田病院	096-234-1248
1月4日	小屋迫医院	096-234-0165
1月11日	荒瀬病院	096-234-1161
1月18日	谷田病院	096-234-1248
1月25日	甲佐眼科クリニック	096-235-5600

## ●休日当番薬局

月 日	当番薬局	電話番号
1月1日	甲佐薬局	096-234-3876
1月2日	三恵薬局	096-234-3678
1月3日	コーセー薬局	096-234-1491
1月4日	甲佐薬局	096-234-3876
1月11日	三恵薬局	096-234-3678
1月18日	コーセー薬局	096-234-1491
1月25日	甲佐薬局	096-234-3876

●日程は変更になる場合があります。最新情報は町公式ウェブサイトなどをご確認ください



▲「一年の行事」特集コーナーで新しい年の始まりを感じてみませんか

「二年の行事」特集コーナー  
日本には、季節ごとにさまざまな行事や記念日があります。そのひとつひとつに意味があり、人々の願いや感謝、生活の知恵があります。行事の由来や風習を知ることにより、行事を楽しみながら、子どもたちにも伝えていけるのではないのでしょうか。

ター図書室内)

#### ●日時

1月8日(木) 午前10時30分

#### ●会場

おはなしのへや(町生涯学習センター図書室内)

#### ●0歳児からのおはなし会について

図書室では年中行事に関する児童書や絵本の特集コーナーを作り、紹介しています。大人が読んでも興味深く、懐かしい気持ちになります。新しい一年の初めに、ぜひ子どもたちと一緒に楽しみたいと思います。

図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びうたなど楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。



町生涯学習センター・図書室

☎ 096-234-2447 (内線331)

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週火曜  
年末年始

■貸出冊数 1人5冊まで

■貸出期間 15日間



## 新着図書紹介

### 小説



#### 梧桐に眠る

澤田 瞳子 著/潮出版社

8世紀の奈良、遣唐使に伴われて唐の長安からやってきた袁晋卿。孤独な生活を余儀なくされていた彼は、浮浪児たちと出会い、心を通わせていく…。欲望渦巻く平城京、争いの渦中で、もがき生きる彼らの姿を丁寧に描いた1冊です。



#### さよならジャバウォック

伊坂 幸太郎 著/双葉社

結婚直後の妊娠と夫の転勤。その頃から夫は別人のように冷たくなった。そして今、自宅マンションの浴室で夫が倒れている。私が殺したのだ…。伊坂幸太郎デビュー 25 周年記念の長編ミステリー。終盤のサプライズが最高の1冊です。



#### 宇宙の片すみで眠る方法

畑野 智美 著/ポプラ社

婚約者・直樹を亡くした依里。直樹は年上女性と東北の温泉宿に泊まり、その帰りにバス事故に遭ったのだ。以来眠れなくなった依里は、デパートの寝具売り場で働くことに…。心の痛みをそっと寄り添ってくれるような読後感です。

### 一般書



#### 羽柴秀長 秀吉の天下を支えた弟 柴裕之 著/KADOKAWA

兄・秀吉の名補佐役として、豊臣政権を支え続けた羽柴(豊臣)秀長。最新研究と豊富な史料をもとに、信長・秀吉時代のもう一人の立役者の、知られざる実像を描き出す。今年大河ドラマ「豊臣兄弟!」時代考証者の最新刊です。



#### フローラ黒田園芸の草花図鑑 黒田 健太郎・黒田 和義 著/家の光協会

人気園芸店「フローラ黒田園芸」がおすすめする草花を、育て方のポイントや栽培カレンダーとともに 231 種収録した植物図鑑。定番品種から最近人気の新品種を美しい写真で掲載。庭づくりや寄せ植えでの使い方も紹介しています。



#### 華氏マイナス三十度

キャシディ・ランドール 著 森田 由香 訳/国書刊行会  
彼女たちは性差別や女性嫌悪には怯まず、社会や登山界が作った壁を押し除け、自分たちの肉体の限界を超えて挑戦し続けた…。1970 年、世界で初めて、女性だけの登山隊が北米最高峰マッキンリーに挑んだ崇高な冒険の物語です。



糸田区の『大綱引き』は、「350年の伝統がある」と、言われています。本来は、2月で旧暦の1月15日の満月の夜に「十五夜の綱引き」として行われていましたが、近年は直近の日曜日の午後に行われています。

由来は2つあるようで、1つ目は「緑川の洪水による堤防決壊を防ぐために大綱を準備していた」、2つ目は「旧糸田村の上・下の2組に分かれて綱引きを行い豊作祈願を行った…」とされています。

大綱作りは消防団が中心となり全家庭が参加し、住民の連帯、そして老若男女の交流の場ともなっています。大綱には引綱が編み込まれます。引綱は3本の小縄を一束にして、5mほどの長さに三つ編みにしたものを20本ほど編みます。大綱は小縄20本を一束にして3束を三つ編みで編んでいき、途中に引綱を編み込んでいきます。出来上がった綱は、外周45m、長さ50mの大綱になります。いよいよ綱引きになると、区民が居住地の上・下二組に分かれ、3回引き合って勝敗を決

めます。綱引き後は、とぐろ巻きに積み上げ、お神酒をあげ参加者全員で担ぎ、氏神様である植木阿蘇神社へ向かいます。神社へ着いたら、「マイタマイタ」の掛け声をかけながら社殿の周りを3周し、神殿の床下に奉納・保管され、緑川の洪水に備えます（現在では実際に使われることはありません）。奉納された大綱は、2年分を保管し、古い大綱はお焚き上げされ新旧交代にて保管されます。

本町に残る数少ない伝統行事『糸田の大綱引き』。未永く続けて欲しいと思います。行事の様子を収めたDVDの鑑賞を希望される方は、町社会教育課までご連絡ください。



糸田区の伝統行事「大綱引き」

お問い合わせ先

町社会教育課

☎ 096-234-2447（内線327）

## 人権く心豊かに暮らすためにく

自ら気づき、考え、行動することの大切さを学ぶ

### 令和7年度「甲佐町学校人権教育部会授業研究会」を開催

11月5日（水）に甲佐中1年生と甲佐小3年生、11月18日（火）に乙女小6年生のそれぞれの教室で「甲佐町学校人権教育部会授業研究会」が開催されました。

同部会では、人権教育に係る授業研究会を通して、教職員の基本的認識を深めるとともに、各学校間の連携を深め、町内における人権教育の充実と発展に資するために本研究会を実施しています。また、子どもたちが部落差別（同和問題）を正しく理解し、お互いを認め合う心を育てる学習を進めていきます。

乙女小では、「ひとりの友だち」を教材にして授業を実施。「げんこつ太鼓」で活動する直樹さんが小学3年生の時、同級生の伸二さんの部落差別発言にショックを受けながらも、解放子ども会のなかまと共に話し合いを続けていきます。その結果、伸二さんからの発言の背景を引き出すことができ、

伸二さんのために共に行動するという教材です。この授業で子どもたちは、間違った行動に気付くこと、気付いたらなかまと一緒に動くことの大切さを学びました。

参加された先生から「子どもたちが積極的に発言できていて素晴らしい話をしていったか、多様な面から考えていたと思います。一人一人が自分を見つめていた姿がありました」などの感想がありました。

#### ●お問い合わせ先

町社会教育課

☎ 096・234・2447



▲「ひとりの友だち」を教材に人権について学ぶ乙女小6年生の児童たち



## 生成AIなどのデジタル技術を学んで 自分の仕事や生活に活かしてみませんか

### 「はじめてでも使える生成AI」 活用入門講座

調べ物を効率化したり、文章・資料をサツと作成したり、アイデア出しをサポートしてくれるAIの活用を、実際に操作しながら体験します。初めての方でも安心してご参加いただけます。

#### 開催日時

令和8年1月28日（水）午後2時～4時

#### 会場

起業等応援施設「MEBKAS」サロンスペース

#### 対象

どなたでも参加OKです

#### 必要なもの

ノートパソコン（Wi-Fiに接続できるもの）、メールアドレスの登録をお願いします。

#### 参加費

無料

#### 参加申し込み

次の二次元コードを読み込み、応募フォームからお申し込みください。



### 町民向けの生成AI活用講座

町民を対象にした、全4回の「AI活用とノーコードでつくるアプリ制作講座」を開催します。

今回の講師は、「MEBKAS」の入居企業であるSystemさん。生成AIの活用事例、専門知識がなくてもアプリ制作などができる方法を分かりやすく紹介します。

最終回では、自分の仕事や生活で活かすための実践計画づくりにも挑戦。デジタル技術を学び、今後の働き方などに活用していきたい方、ぜひご参加ください。

#### 開催日時

令和8年2月6日（金）から毎週金曜日（午前10時～正午）全4回

#### 参加申し込み

次の二次元コードを読み込み、応募フォームからお申し込みください。

#### お問い合わせ先

起業等応援施設「MEBKAS」みらい株式会社

0969-24-8775



## 魅力発信！甲佐高校通信 vol. 34

県立甲佐高校（甲佐町横田 327） ☎ 096-234-0041

## 持久力と運動技能を高める 長距離走大会を開催しました

12月5日（金）、長距離走大会を開催しました。

男子は高校から白旗グラウンドを折り返しとする10<sup>キ</sup>、女子は甲佐大橋と国道443号線の交差点手前を折り返しとする7<sup>キ</sup>のコースに、全校生徒97名が挑みました。

当日は晴れ間も見える気持ちのよい天気となり、生徒たちはそれぞれのペースで最後まで頑張って走り切りました。コースの途中には、育友会の皆様が準備してくださった給水所が設置され、激励の声が飛び交いました。

さらに、完走後にはパンとお茶の

差し入れもいただき、生徒たちは達成感とともに笑顔を見せていました。

コース周辺にお住まいの皆様には、温かいご声援やご協力をいただき、心より感謝申し上げます。車両から多くの方が手を振って応援してくださり、生徒たちの大きな力となりました。

また、今年度のスポーツフェスティバルは、5月の体育大会から続く赤団・青団の得点対決の第4回目で、今回が最終種目となります。勝利する団の発表はこれからです。生徒たちは最後まで全力で取り組み、大いに盛り上がりました。



▲長距離走大会の高校前スタートの様子（写真上）、汗を流す生徒に声援を送る沿道の住民の方（下）



甲佐高校ホームページでも  
高校ライフを発信中です ▶



# R8.1

## 甲佐町イベントカレンダー



◀ 詳細はウェブサイト  
でご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
12/28 年末年始閉庁日 (1/4まで)	12/29	12/30	12/31	1 元旦	2	3
4	5	6	7	8 消費生活相談 (町福祉課)	9	10
11 二十歳の成人式 (町社会教育課)	12	13 1歳6か月児・ 3歳児健診 (町健康推進課)  法律・人権・行政相談 (町福祉課)  ふるさと応援チ ケット使用期限 (町地域振興課)	14 マイナンバーカード 夜間窓口(要予約) (町住民生活課)	15 消費生活相談 (町福祉課)  4か月・7か月・ 11か月児健診 (町健康推進課)  行政区配布 (町総務課)	16	17
18 人権教育講演会・ ミニコンサート (町社会教育課)	19 心配ごと相談 (町福祉課)	20	21 認知症について の相談会と家族 のつどい (町福祉課)	22 消費生活相談 (町福祉課)	23	24
25	26	27	28 口座振替 (町税務課)	29 消費生活相談 (町福祉課)	30 夜間窓口 (町税務課)	31

※ やむを得ず中止・延期になる場合があります。



## 国民健康保険は健康を守る助け合いの制度です

国民健康保険は、加入者の皆さんが国民健康保険税を出し合い、病気やけがをしたときに備える制度です。

国保加入者の医療費は、本人が医療機関の窓口で支払う一部負担金を除き、残りを国保が支払っています。この仕組みのおかげで、医療費の一部を負担するだけで医療を受けることができます。

- 国保はこんなことに使われています
  - ・診察や治療、薬や注射などの処置、入院および看護などの医療費の一部
  - ・入院中の食事代の一部
  - ・出産育児一時金
  - ・葬祭費

### ●資格の届け出は忘れなく

国保は加入の届け出日からではなく、国保加入の資格を得た月から課税されます。そのため、加入の届け出が遅れると、加入資格を得た月までさかのぼって課税されます。また、国保をやめる時は、やめる月の前月までの月割りで計算し国保税を納めます。国保をやめる届け出をしないと、保険料と国保税を二重に納めることになってしまいます。

国保税を滞納すると、高額医療費の限度額認定証の交付を受けられなかったり、いったん医療費を10割負担することになる「特別療養費制度」の対象となる場合もあります。

### ●国保税の納付は便利で安心な口座振替がおすすめです

国保税は、納付書か口座振替で納付することができます（世帯内の国保被保険者すべてが65歳以上の人で、一定の要件を満たすと年金からの天引きになる場合があります）。

口座振替を希望する場合は、指定の金融機関で手続きをお願いします。便利で安心、確実な口座振替をぜひ利用しましょう。

### ●「医療費のお知らせ」が確定申告で使えます

2月13日（金）から始まる確定申告に、国保から送付している「医療費のお知らせ」が使用できます。「医療費のお知らせ」は再発行できませんので、大切に保管されますようお願いいたします。

### ▼お問い合わせ先

町住民生活課

☎096・234・1113

## 令和6年度御船甲佐クリーンセンターごみ処理実績

令和6年度における、御船甲佐クリーンセンターへのごみ搬入量は、合計で7,278トンでした。

前年度と比べて209トンの減少となりました。ごみ搬入量の品目別の内訳については、表1「ごみ搬入量」のとおりです。

表2「資源物搬出量」に記載している品目については、御船甲佐クリーンセンター内で中間処理し、資源物回収業者に売却または再資源化を委託しています。資源ごみ売却に伴う収益は、10,675千円でした。この収益につきましては、御船甲佐クリーンセンターの運営資金に充てられています。

表1 ごみ搬入量

種別	排出量（トン）
可燃ごみ	6,162
資源ごみ	538
粗大ごみ	167
直接持ち込み	411
計	7,278

表2 資源物排出量

※網掛けは売却品目

品目	排出量（トン）	品目	排出量（トン）	品目	排出量（トン）
空き缶	40	段ボール	91.4	牛乳パック	2.4
新聞紙	63	雑誌	47.7	古着	24
紙製容器包装	12.3	小型家電	7.4	廃食油	5.2
粗大金属	153	ペットボトル	51.04	乾電池	5
空きびん	127	蛍光管	1.3	食品トレイ	2.3

※上記数量は甲佐町と御船町の合算です。

### 【お問い合わせ先】

- ・御船甲佐クリーンセンター ☎096-282-0688
- ・町環境衛生課（町水道管理センター内） ☎096-234-1169

## 20歳になったら国民年金に加入しましょう

### ●国民年金は支え合いの制度です

国民年金は、老後や障がいを負ったときの生活を、現役世代のみなんで支えようという考えで作られた仕組みです。

具体的には、20歳から60歳までの人が加入し、国民年金保険料を納め続けることで、老後や病気・けがなどで障がいが残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができる制度です。

### ●国民年金の被保険者は3種類

国民年金には、職業などによつて3つの被保険者の種類があります。  
学生や自営業の人などが加入する第1号被保険者、会社員や公務員などが加入する第2号被保険者、第2号被保険者に扶養されている配偶者が加入する第3号被保険者の3種類です。

それぞれ加入手続きや納付方法が異なりますので第1号被保険者は住民生活課へ、第2号または第3号被保険者は熊本東年金事務所にお尋ねください。

### ●国民年金保険料免除・猶予制度

国民年金保険料の納付が経済的に困難な場合、保険料の納付が「免除」または「猶予」される制度があります。

また、学生の人は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額以下の場合、保険料の納付が猶予される学生納付特例制度があります。

免除または猶予を希望する場合は、申請が必要です。

### ●保険料は期限までに納めましょう

国民年金保険料を未納のままにしておくと、将来やいざというときに年金が受け取れないことがありますので、保険料は必ず期限までに納めましょう。  
国民年金のご相談・手続きについては、町住民生活課または熊本東年金事務所へお問い合わせください

### ▼お問い合わせ先

・町住民生活課

☎ 096・234・1113

・熊本東年金事務所

☎ 096・367・8144

## 令和8年度甲佐ブランド「こうさんもん」新規認定申請品を募集します

町では、令和8年度登録の甲佐ブランド「こうさんもん」新規認定申請品を募集します。

「甲佐ブランド『こうさんもん』認定制度」は、本町の豊かな自然の中で育った農作物や加工品などの魅力ある商品を町のブランド品として認定し、町や甲佐町商工会などが応援することで本町の活性化を目指すものです。

### ●認定基準

- ①本町らしさを表現している商品であること（名称やデザインなど本町を表現するもので、イメージアップにつながる商品や、主原料または一部に本町産のものを使用していること）
- ②商品に独自性・優位性があること（ほかの産地や類似商品と比較して、商品の特性に独自のこだわりがあること）
- ③安全性・生産性・販売体制・認定後の意欲が整っていること

### ●申請者の条件（申請者は次の①～③のいずれかの条件を満たすものとします）

- ①個人の場合 町内在住かつ町内に生産もしくは製造拠点が存在すること
- ②法人の場合 町内に生産もしくは製造拠点が存在すること
- ③その他、町長が認めたもの

●申請期限 令和8年1月30日（金）午後5時

●認定審査会 令和8年2月（予定）

※詳細は、町地域振興課にお尋ねください。



【申請・お問い合わせ先】

町地域振興課 ☎096-234-1154



# くらしの情報

LOCAL NEWS &  
LOCAL INFORMATION

❖ イベント等の開催に関する詳細は  
各問い合わせ先にご確認ください

## お知らせ

税務署開設の申告相談会は  
熊本東税務署で行います

熊本東税務署では、今年も確定申告相談会を行います。会場の駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

### 確定申告相談期間

令和8年2月16日(月)～3月16日(月)

※3月1日(日)に限り、休日も開設。

※会場への入場には、整理券が必要です。整理券は、LINEでの事前予約が優先されますのでお求めです。会場での当日整理券は、数に限りがあります。

### 受付時間

午前9時～午後3時

### 会場

熊本東税務署1階事務室

## お問い合わせ先一覧

- ❖ 甲佐町役場  
096-234-1111 (代表)
- ❖ 甲佐町保健福祉センター  
096-235-8711
- ❖ 甲佐町教育委員会  
(町生涯学習センター)  
096-234-2447
- ❖ 水道管理センター  
096-234-0755
- ❖ 町民センター  
096-234-2459
- ❖ 老人憩いの家  
(社)甲佐町社会福祉協議会  
096-234-0423
- ❖ 御船町甲佐町衛生施設組合  
(クリーンセンター)  
096-282-0688
- ❖ 上益城消防署  
096-282-1955
- ❖ 御船警察署  
096-282-1110
- ❖ 上益城広域連合  
096-237-2891
- ❖ 県上益城地域振興局  
096-282-2111 (代表)
- ❖ 県御船保健所  
096-282-0016
- ❖ 県庁  
096-383-1111 (代表)

(熊本市東区東町3丁目2番53号)

### 事前申告相談会

確定申告期間中の来場者の平準化を図るため、熊本東税務署で申告事前作成会(事前予約制)が行われます。

### 事前申告相談期間

令和8年2月5日(木)～2月13日(金)

※土・日曜日および祝日を除きます。

### スマホで申告ができます

スマートフォンから所得税の確定申告ができ、大変便利でおすすです。

詳細は、国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」をご覧ください。

### お問い合わせ先

熊本東税務署

☎096・369・5566



## 2月13日(金)から町の申告相談を開始

町では、令和8年2月13日(金)から町・県民税、国民健康保険税の申告相談を行います。

### 準備するもの

- ・マイナンバーカード
- ・収入額を確認できるもの
- ・給与収入や年金収入のある人は、源泉徴収票または支払調書をご準備ください。事業所得のある人は、収支内訳書の提出が必要です。
- ・所得控除額を確認できるもの
- ・国民健康保険税や介護保険料、後期高齢者医療保険料の納付証明や、国民年金保険料、生命保険料、地震保険料などの控除証明書など
- ・そのほか各種控除などに必要な書類

### 申告期間

令和8年2月13日(金)～3月13日

日(金)

※土・日曜日および祝日を除きます。

### 会場

町生涯学習センター・研修室

### 雑損控除を受ける方へ

令和7年8月豪雨の影響により、申告期間中は例年よりも大変雑損が予想されます。

雑損控除を受ける方は、熊本東税務署にて雑損控除計算書作成を行ったうえで確定申告をしていただく必要があります。

必要書類などをご確認いただき、事前に熊本東税務署へお問い合わせのうえ、申告を行ってください。

※世帯の所得状況、地震保険の保険金を受領された方は、その金額などによって雑損控除の申告が必要ない場合もあります。不明な点は、町税務課までご相談ください。


### お問い合わせ先

・町税務課

096・234・1112  
(内線112)

町税務課

お問い合わせ先



令和8年2月2日(月) まで

償却資産の申告は

法人や個人で、工場・商店・農業などの経営をしている人や不動産業で駐車場やアパートなどを貸し付けている人がその事業のために所有する構築物、機械、器具、備品などを償却資産といい、固定資産税が課税されます。

令和8年1月1日(木) 現在で償却資産を所有する人は、期限までに資産の種類・取得価格などを記載した申告書を町税務課に提出してください。

なお、10キロワット以上の太陽光発電設備も固定資産税の対象となりますので、申告が必要となります。

本年度の提出期限

令和8年2月2日(月)

詳細は、町公式ウェブサイトをご覧ください。

096・369・5566

熊本東税務署

(内線115)

## 緑川改修事業の促進について要望活動を行いました



▲金子国土交通大臣に要望書を手渡す甲斐緑川改修期成会会長(写真中央)

10月27日(月)、本町を貫流する一級河川・緑川をはじめとする緑川水系の治水対策などの事業や管理を行う国土交通省に対して、緑川改修期成会(甲斐高士会長)が、令和7年8月に発生した水害による、緑川の堆積土砂や流木の撤去や堤防の整備などの河川整備促進について要望活動を行いました。

甲斐会長は「令和7年8月の水害につきましては、貴省をはじめ関係機関の迅速かつ的確なご支援をいただき、感謝申し上げます。今後も激甚化する水災

害に対し、緑川水系の防災・減災・国土強靱化のための対策は重要です。地域の皆様の生命・財産を守り、安全・安心な地域づくりのために、早期整備の促進をお願いいたします」と述べ、金子恭之国土交通大臣に要望書を手渡しました。

### ▶緑川改修期成会の主な要望内容(本町関連)

- ①令和7年8月豪雨被害により堆積した土砂や流木の除去
- ②船津地区防災ステーション整備および築堤事業の推進
- ③国、県および沿川市町が連携して検討する緑川の特性を踏まえたハード・ソフト対策の着実な推進
- ④緑川におけるかわまちづくり支援制度の継続的な推進と沿川自治体を実施する事業への協力支援
- ⑤内水対策に伴う排水機場および排水ポンプの整備の協力支援
- ⑥熊本甲佐総合運動公園の災害復旧および浸水対策への支援

traffic safety		
事件・事故件数		
種別	発生件数	
	11月	年累計
人身事故	0	12
物損事故	11	179
盗難など	0	7

11月30日現在

fire prevention		
出動火災件数		
種別	発生件数	
	11月	年累計
家屋	0	0
原野	0	3
その他	0	0
合計件数	0	3

12月15日現在

tax		
町税などの滞納処分(11月分)		
種別	件数・金額など	
捜索	0件	
差し押さえ件数	8件	
公売回数	0回	
公売件数	0件	
滞納処分関連収入	193,139円	



## お知らせ

### 町職員を追加募集します

町では、令和8年4月1日採用予定の職員を追加募集します。

#### ▼募集職種

- ・一般事務（高卒程度）2人程度
- ・土木（高卒程度）1人程度
- ・保健師（資格免許職）2人程度
- ・学芸員（資格免許職）1人程度

#### ▼申し込み受付期限

令和8年1月8日（木）午後5時

#### ▼試験日

令和8年1月25日（日）

※詳細は町公式ウェブサイトをご覧いただくか、町総務課までお問い合わせください。

#### ▼お問い合わせ先

町総務課

☎096・234・1140



### 水道管の凍結・破裂にご注意ください

寒波により最低気温が0度を下回ると水道管が凍結し、破裂する恐れがあります。凍結を防ぐために屋外の露出した水道管や蛇口には、布や保温材を巻きつけるなどの対策を行いましょよう。

#### ▼水道管が凍結したら

凍った部分に布やタオルをかぶせ、ぬるま湯をゆっくりかけてください。熱湯をかけたり無理な力を加えると破損の原因となります。

#### ▼水道管が破裂したら

メーターボックス内のバルブ（止水栓）を閉めて、町公式ウェブサイトに掲載している町指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。

#### ▼お問い合わせ先

町環境衛生課

☎096・234・0755



### 令和8年4月から休日当番医が変わります

これまで、町内医療機関で日曜日と年末年始に行われてきました休日当番医が、令和8年4月から次のとおり変更されます。

#### ▼変更内容

- ・令和8年3月29日（日）まで  
町内の医療機関のうち、1か所が休日当番医として開院
- ・令和8年4月5日（日）から  
上益城郡内5町の医療機関のうち、3か所が休日当番医として開院

このことにより、町内で日曜日および年末年始に開院している医療機関が無いことが発生します。

在宅当番医については、町広報

紙、熊本日日新聞（新聞当番医掲載一覧）、上益城郡医師会ホームページ、町公式ウェブサイトに掲載されます。ご不便をおかけする場合がありますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

#### ▼お問い合わせ先

町健康推進課

☎096・235・8711

### 「緑川スポーツフェスタ」中止のお知らせ

例年3月に開催している「緑川スポーツフェスタ」について、今年度の開催を中止することといたしました。これは、令和7年8月に発生した豪雨により、町内での人的被害や浸水、土砂崩れなど甚大な被害が生じたためです。被災された町民の皆様

の早期復旧・復興を最優先に考えた結果、このような判断に至りました。ご理解のほど、よろしく申し上げます。

#### ▼お問い合わせ先

町地域振興課

☎096・234・1154

### 農業者年金に加入しませんか

農業者年金は、農業に従事する人

が加入できる年金制度です。

自ら積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る年金額が決まる「積立方式（確定拠出型）」の年金で、保険料は自由に選べ、いつでも見直しできます。また、支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象となります。

農業者老齢年金は、原則65歳から生涯受け取ることができます。

#### ▼対象者

20〜59歳の国民年金第1号被保険者（国民年金保険料納付免除者を除く）または60〜64歳の国民年金の任意加入者で年間60日以上農業に従事している人

#### ▼保険料の国庫補助

認定農業者で青色申告をしている人や、申告者と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者など要件を満たす人は、保険料の支援が受けられます。

#### ▼お問い合わせ先

町農政課

☎096・234・1176

### 令和8年度開始 子ども・子育て支援金制度

令和8年度から始まる「子ども・子育て支援金制度」は、全世代や企業の皆さまから支援金を拠出した

体で応援する仕組みです。

拠出された支援金は、少子化対策を促進するために、児童手当の拡充、妊婦のための支援給付、育児時短就業給付などさまざまな施策に充てられます。

支援金制度の必要性や意義、概要については、こども家庭庁のホームページをご参照ください。

#### ▼開始時期

支援金は令和8年4月分から皆さんが加入する医療保険（国民健康保険、後期高齢者医療保険、健康保険）の保険料（税）と合わせて、ご負担いただくこととされています。実際に徴収が開始される時期は、加入する医療保険によって異なります。本町においても令和8年度から導入をすすめています。

#### ▼お問い合わせ先

町住民生活課

☎096・234・1113



### 「ふるさと応援チケット」の利用期限が近づいています

「ふるさと応援チケット」の利用期限は、令和8年1月13日（火）です。利用期限を過ぎると、利用できなくなります。お忘れのないよう必ず期限内に利用してください。

#### ▼お問い合わせ先

町地域振興課

☎096・234・1154

### 陸上自衛隊高等工科学校生徒を募集します

自衛隊熊本地方協力本部では、陸上自衛隊高等工科学校生徒を募集しています。詳細は、宇城募集案内所にお尋ねください。

#### ▼応募資格

男子で中卒（見込含）15歳以上17歳未満の者

#### ▼受付期限

令和8年1月15日（木）

#### ▼一次試験日

令和8年1月24日（土）・25日（日）

#### ▼二次試験日

令和8年2月12日（木）・15日（日）のいずれか1日

また、自衛官候補生も年間を通じて募集していますので、詳細については、自衛隊熊本地方協力本部のホームページをご確認ください。

#### ▼お問い合わせ先

宇城募集案内所

☎0964・23・2047

### 「広域的なスポーツ振興」がテーマのシンポジウムを開催

県では、県知事と市町村長とで地域の未来像を描き、その実現に向けた取り組みを進めるため、地域未来

創造会議を開催しています。

このたび、木村県知事と上益城郡5町長が、上益城地域の広域的なスポーツ振興について語るシンポジウムを行います。

参加希望の方は、二次元コードまたは電話にてお申し込みください。

#### ▼開催日時

令和8年2月4日（水）午前10時～正午（受付は9時30分から）

#### ▼会場

嘉島町民会館・ホール

#### ▼基調講演

・演題

「スポーツを起点としたまちづくりを考える」

・講師

一般社団法人ツノスポーツコミッション代表理事 石原英明氏

#### ▼パネルディスカッション

・コーディネーター

木村県知事

・パネリスト

御船町長、嘉島町長、益城町長、甲佐町長、山都町長

・アドバイザー

石原英明氏

#### ▼定員

100名（先着順・発言不可）

#### ▼参加費

無料



#### ▼お問い合わせ先

上益城地域振興局総務振興課

☎096・282・3044

## くらし安全

1月10日は110番の日

1月10日は、「110番の日」です。

110番通報する際は、「何があったのか（事件か事故か）」、「いつ」、「どこで」、「犯人の人物、着衣、逃走方向、車の特徴」、「被害の状況、被害品」、「あなたの住所、氏名、電話番号」などを落着いて係員にお話してください。

携帯電話の場合は途切れることがありますので、必ず立ち止まってからの通報をお願いします（車などの運転をしながらの通話はできません）。また通報場所の市町村名と目標物などを正確に伝えてください。

通話終了後は、110番センターから不明な点をお尋ねする場合がありますので、しばらく電源を切らないでください。最後に非通知の人は、電話番号を伝えてください。

#### ▼お問い合わせ先

御船地区防犯協会連合会

☎096・282・1110



## literary work

うたごよみ ～睦月～

### 〔短歌〕

赤星延子 選

街路樹は秋の色に染まりゆき  
冬を待たずにはらはら散りぬ

内田乃武子

観客の心を打ちしデフリンピック  
選手の顔は光り輝く

緒方 明美

正月が来たなら一つ歳をとる  
祖母の時代のならい懐し

岡部 律子

若人が胸躍らせて集い来る  
今年も甲佐一〇マイルマラソン

池田キヨ子

この年もあつという間に過ぎゆきて  
歳を重ねる新しい年

吉永由紀子

遅咲きの百日紅見ゆ縁側に  
二人座りて眺めた日々よ

赤星 延子

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局  
☎ 096・234・2447 (内線321)



### 〔肥後狂句〕

北川直美 選

へたくそー  
こんくらいなら私でん

広田みどり

へたくそー  
いさぎーボデーへこんどる

志垣 光

へたくそー  
上手なところ捜さなん

平井やよい

へたくそー  
釘の一ツも打てんのか

光永 六

へたくそー  
エラーばかりの四番打者

井元あざみ

へたくそー  
ヘソクリ置場いつもバレ

日高 美里

へたくそー  
何て書いたか読まれんと

上田 梅清

へたくそー  
上手な嘘で褒めとかし

北川 直美

## ひとの動き

11月11日(火)～12月10日(水)届出

### お誕生

今月の出生児 1件

### ご結婚

	住 所	氏 名
夫	津志田	上村 空
妻	津志田	岡本 愛

ほか2組

### お悔やみ

住 所	氏 名	年齢	世帯主
豊 内	西山 利治	86	利 治
府 領	舩田 清一	75	清 一
吉 田	下坂さなえ	68	さなえ
田 口	山口 和俊	83	由美子
府 領	長野紀久子	89	和 代
上早川	白石 智博	82	久 子

ほか4人

## ふるさと甲佐 応援寄附金

### ▶ご寄附いただいた皆様

お名前	ご住所
・西澤 治様	沖縄県
・柴野 一磨様	新潟県
・田島 隆一様	埼玉県
・田中 智様	千葉県
・吉澤 政幸様	神奈川県

ほか多数

### ■お問い合わせ先

町地域振興課

☎096-234-1154

ふるさと納税の  
詳細はこちらを  
チェック!▶



「広報こうさ」ア  
ンケート実施中!  
ご協力をお願いし  
ます▶



## Let's make health

甲佐の野菜で作ってみよう!

## 黒豆で作る「ういろう」

レシピ提供: 料理研究家 沼田峰子さん (北原区)



### 【材料】

黒豆 …………… 1/2カップまで  
薄力粉 …………… 大さじ6  
片栗粉 …………… 大さじ2.5  
砂糖 …………… 大さじ6  
水 …………… 200cc

### 【作り方】

- ① ボウルに薄力粉・片栗粉・砂糖を入れ、泡立て器でよく混ぜ合わせます。
- ② ①に分量の水を加えて、ダマがでないようしっかり混ぜていきます。
- ③ レンジ対応の容器をサッと水にくぐらせます。ここに②の生地を半分ほど流し入れます。
- ④ ふんわりラップをして2分半～3分、レンジで加熱します。
- ⑤ ④の生地の上に黒豆をのせて広げ、残りの生地を流し入れ、ラップしてさらにレンジで3分加熱します。
- ⑥ ⑤が完全に冷めたら、食べやすい大きさに切り分けます。

### ご存じですか?

いよいよ年が明け、新しい年がスタートしました。今年も元気いっぱい過ごすために、規則正しい食生活を心がけていきましょう。

さて、丹精込めて作った黒豆が残っていませんか。途中火入れをすると多少日持ちしても、味が濃くなるばかり。そんな時は、目先を変えてみませんか。黒豆には、神経細胞を正常に保つために欠かせない栄養がたくさん入っています。また、生活習慣病を予防する効果も期待できますよ。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

2026年は午年。馬は古くから人とともに歩み、力強く前へ進む象徴として親しまれ、物事が勢い良く進み、努力が実を結びやすい年とも言われるそうです。努力を重ねて身を結ぶと。例えば、今年度の10マイル大会は、50回を積み重ねた記念大会として開催されました。

女子5\*の部では日本記録も更新され、競技者の努力が実った瞬間にも立ち会ったことができました。カメラを構えていると、いろんな人のいろんな表情を見ることが出来ます。

今年も広報紙を通して町民の皆さんの表情や思い、町の今を丁寧に届けていけるよう努めてまいります。

(み)

編集後記



本田 和登さん  
Kazuto Honda

〔中横田区〕

オリンピックに出場するような  
トップ選手からも「熊本のおじ  
いちゃん」と親しみを込めて呼  
ばれる本田さん。長年にわたり  
監督や選手一人ひとりと向き合  
い、誠実に信頼関係を築いてき  
たからこそ、多くの選手がこの  
甲佐の地に集い続けている。

## 大会の歩みを支え続けて 第50回の開催へ導いた情熱

本年度で第50回を迎えた「熊  
本甲佐10マイル公認ロードレ  
ース大会」。世界陸上やオリ  
ンピック出場選手、全日本実  
業団駅伝や箱根駅伝に名を連  
ねるトップランナーたちが集

うロードレースとして全国に  
知られている本大会の歩みを  
語る上で欠かせない人物が、  
本田和登さん（中横田区）。  
本田さんは、町職員だった  
ころの第6回大会から本大会

の運営に携わり、退職後も選  
手勧誘や大会運営など、支え  
続けている存在。「本田さん  
なくして、この大会は続いて  
いなかった」と関係者が口を  
そろえるほど、その貢献は計  
り知れない。本田さんは、「今  
でこそ全国から選手が集まり  
ますが、ここまでの道のりは  
試行錯誤の連続でした」と笑  
顔で大会の歴史を振り返る。

大会の前身は、昭和27年か  
ら昭和50年まで開催されてい  
た「甲佐マラソン大会」。交  
通事情の変化により一度は継  
続が難しくなったが、昭和51  
年に「10マイル甲佐マラソン  
大会」として現在のコースに  
近い形で再出発した。その時  
から本田さんは、「全国レベ  
ルの大会にしなければ、甲佐  
町の名も大会に残らない」と  
考えるようになったという。

転機となったのが、第8回  
大会からの日本陸上競技連盟  
公認コースの取得。「名称に  
あえて『熊本』を入れたのは、  
甲佐町の名前を全国に知って  
もらうためでした」と話す。

しかし、公認大会となっても  
予算は限られ、実業団との  
つながりもほとんどなかった  
ため、「最初は、各県の陸協  
にお願いして、1〜2人派遣  
してもらったのが精一杯でし  
た」と苦い表情の本田さん。  
そんな中、九州屈指の強豪で  
ある旭化成陸上競技部に目を  
向けるが、面識のない状態で  
の依頼は厳しく、最初は「甲  
佐町はどこですか」と一蹴さ  
れたという。

それでも諦めなかった本田さ  
ん。「挑戦せずして駄目と思  
うな」の信条のもと、延岡へ  
何度も足を運び、ついに第10  
回大会で旭化成からの選手派  
遣が実現する。このことをき  
っかけに「甲佐10マイル」の  
名が世に広まり始め、他の実  
業団チームも少しずつ参加す  
るようになった。

本田さんは、九州各地で開  
催される大会に足を運び、監  
督や関係者と顔を合わせ、地  
道に信頼関係を築いていつ  
た。それは50回を迎えた今も  
続いている。「まず大会を知  
ってもらうこと。そして、応  
えてくれたことに感謝するこ  
と」。その積み重ねが、全国  
から選手が集う現在の大会へ  
とつながっている。

「私の原動力は、熱意と絆  
(ぎずな)、そして感謝です」  
と語る本田さん。第50回とい  
う大きな節目を迎え、「この  
大会が、世界へ羽ばたく選手  
たちの登竜門として、これか  
らも成長していくことを願っ  
ています」と、穏やかな笑顔  
で駆ける選手たちと甲佐10マ  
イルの輝く未来を見据える。